

問1 1833年頃から数年にわたって発生し、幕府の権威が揺らぐ原因となった大飢饉のことを何という？

1. 天明の飢饉 2. 寛政の飢饉 3. 天保の飢饉 4. 享保の飢饉

問2 江戸と大坂を結ぶ主要な海上輸送船として、北前船とともに活躍した船を何という？

1. 朱印船 2. 菱垣廻船 3. 北前船 4. 樽廻船

問3 江戸時代、金貨が主に流通した東日本と、銀貨が主に流通した西日本の間で、異なる貨幣を計算して交換することを何という？

1. 両替 2. 掛屋 3. 蔵元 4. 仲買

問4 17世紀後半のイギリスで、国王の権力を制限して議会政治の基礎を確立した出来事を何という？

1. アメリカ独立革命 2. フランス革命 3. 清教徒革命 4. 名誉革命

問5 江戸時代、全国の年貢米や特産物が集まり、物流の拠点として「天下の台所」と呼ばれた都市はどこ？

1. 京都 2. 江戸 3. 大坂 4. 長崎

問6 産業革命を経て工業力が飛躍的に高まり、イギリスが自称あるいは他称された呼び名を何という？

1. 七つの海 2. 世界の工場 3. 銀の道 4. 太陽の沈まない国

問7 江戸時代、5代将軍として儒学を厚く奨励し、武力による政治から道徳や学問を重視する政治へ転換した人物は誰？

1. 徳川綱吉 2. 徳川家康 3. 徳川家光 4. 徳川吉宗

問8 江戸時代初期、徳川家康が海外渡航を許可して盛んに行われた貿易を何という？

1. 勘合貿易 2. 南蛮貿易 3. 長崎貿易 4. 朱印船貿易

問9 幕府がキリスト教禁止を徹底するために禁止した、ある国からの船の来航を何という？

1. 鉄砲伝来 2. 南蛮貿易の開始 3. ポルトガル船の来航 4. キリスト教伝来

問10 江戸幕府が長崎貿易で清へ輸出した、俵物と呼ばれる加工海産物の代表例を何という？

1. 昆布 2. いりこ 3. 干しアワビ 4. フカヒレ

問11 17世紀末から18世紀初めにかけて、経済力をつけた町人が文化の中心地となった都市は、大坂ともう一つどこ？

1. 堺 2. 江戸 3. 大坂 4. 京都

問12 江戸時代、株仲間などが営業の対価として幕府に上納した税金のことを何という？

1. 運上 2. 年貢 3. 冥加金 4. 御用金

問13 江戸時代に十返舎一九が執筆し、弥次郎兵衛と喜多八の道中記を描いた滑稽本を何という？

1. 南総里見八犬伝 2. 雨月物語 3. 東海道中膝栗毛 4. 好色一代男

問14 江戸幕府が大名を分類した際、徳川氏の一族にあたる大名を何という？

1. 譜代大名 2. 親藩 3. 旗本 4. 外様大名

問15 江戸時代に普及した、同じ耕地で一年の間に稲と麦などを交互に栽培する農法を何という？

1. 金肥 2. 商品作物 3. 手工業 4. 二毛作

答え合わせ・解説

問1	答え 3 天保の飢饉	天保の飢饉は、冷害と長雨による作物の不作が数年続いたことで発生しました。全国的な米不足と価格の高騰により、都市の貧民や農民は極限状態に追い込まれ、各地で大規模な一揆や、豪商の店を襲う打ちこわし相次ぎました。
問2	答え 2 菱垣廻船	菱垣廻船は、その名の通り船の側面にある垣根状の装飾から名付けられました。大坂から江戸へ日用品や加工品などを定期的に運ぶ重要な輸送手段として重宝されました。後に、酒などの輸送を専門にする樽廻船も登場し、江戸への供給を支えました。
問3	答え 1 両替	異なる貨幣を用いる商人や藩同士が取引を行うためには、金と銀の交換が必要不可欠でした。この交換業務を専門に行うのが両替商です。彼らはただ交換するだけでなく、預金を受け入れたり、為替を発行して遠方への送金を代行したりする金融機関のような役割も果たしました。
問4	答え 4 名譽革命	1688年、議会は国王を追放し、新たに国王を招いて『権利の章典』を認めさせました。これにより、国王といえども議会の承認なしには法律を無視できないという原則が確立され、イギリスにおける立憲君主制と議会政治の土台が築かれました。
問5	答え 3 大坂	大坂には諸藩が年貢米を販売するための「蔵屋敷」が数多く置かれました。ここには日本中から米や商品が集まり、商人が活発に取引を行ったため、当時の物流と経済の中心地として「天下の台所」と称されました。米の取引価格を決める市場も形成され、全国的な物価の基準となっていました。
問6	答え 2 世界の工場	イギリス製の機械製品や綿製品が世界中に輸出されたため、当時のイギリスは「世界の工場」と呼ばれました。その強大な工業力は万国博覧会などで世界中に誇示され、国際経済の主導権を握ることとなりました。
問7	答え 1 徳川綱吉	綱吉は自ら儒学を学び、幕府の公的な学問として朱子学を積極的に取り入れました。これにより、社会全体の秩序を守るための道德教育が重視されるようになりました。また、生類憐みの令を出したことでも有名ですが、学問の奨励もその統治の大きな柱でした。
問8	答え 4 朱印船貿易	幕府が発行する朱印状を所持した船のみが海外へ渡航を許されました。この貿易により、日本人は東南アジア諸国へ進出し、各地に日本町を作って活発に商取引を行いました。貿易品としては、銀や銅、工芸品などが日本から輸出されました。
問9	答え 3 ポルトガル船の来航	幕府は、この一揆を鎮圧した後、キリスト教の教えを広める拠点となっていたポルトガル人たちの影響を完全に排除するため、ポルトガル船の来航を禁止しました。これにより鎖国体制がより一層強化され、日本との貿易はオランダや中国などに限定されることとなりました。
問10	答え 2 いりこ	長崎貿易において、日本は金銀に代わる輸出品として「俵物（たわらもの）」を輸出しました。これには、いりこ（なまこを干したもの）、ふかひれ、干しあわびなどが含まれ、清（中国）で高く取引されました。
問11	答え 4 京都	特に上方と呼ばれる京都と大坂は、当時の商業と文化の中心地として栄えました。京都は歴史ある都として工芸や学問が盛んであり、大坂は「天下の台所」と呼ばれ、全国から集められた米や特産品の取引で経済的に非常に活発でした。
問12	答え 1 運上	運上は「冥加」と並び、株仲間間の商人が営業を許可される対価として定期的に納める税金です。主に鉱山経営や特定の商売を独占している者から徴収されました。これにより幕府は商人の経済活動を公認し、全国的な流通網を管理下に置こうとしました。
問13	答え 3 東海道中膝栗毛	東海道中膝栗毛は、旅先での失敗や滑稽なやり取りが描かれた滑稽本です。軽快な文体と親しみやすい内容で、江戸の町人たちに爆発的な人気を博しました。
問14	答え 2 親藩	分類は「親藩」「譜代」「外様」の三つです。親藩は徳川家康の子たちが開いた藩（水戸・尾張・紀伊の御三家など）を指します。彼らは家格が高く、将軍に万が一のことがあった際に後継者を出す重要な役割を担っていました。
問15	答え 4 二毛作	二毛作は、主に夏に稲を、秋から冬にかけて麦を育てることで、土地を休ませることなく効率的に利用する農法です。灌漑（かんがい）設備の整備や肥料の利用が進んだことで、より広い地域で可能となりました。また、収穫した作物を現金化する経済活動も活発化しました。